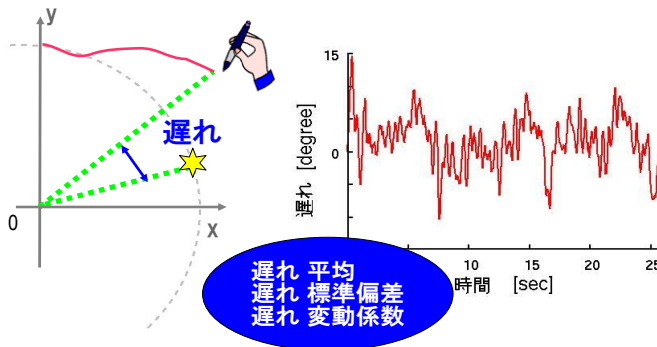
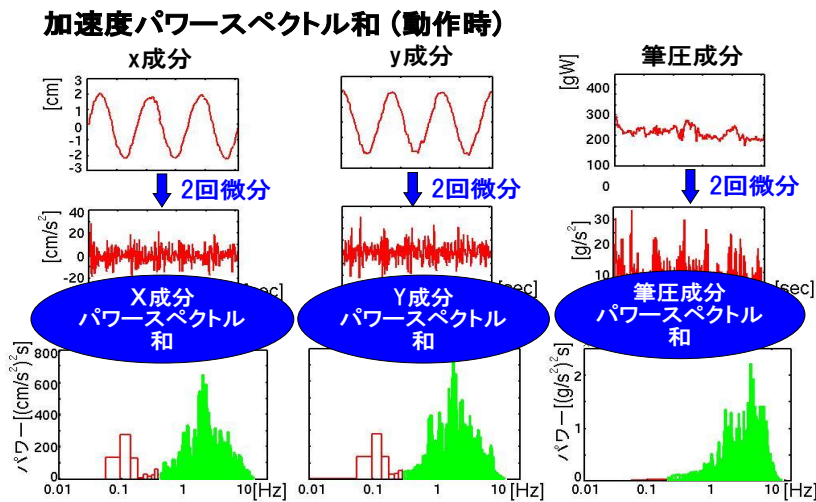


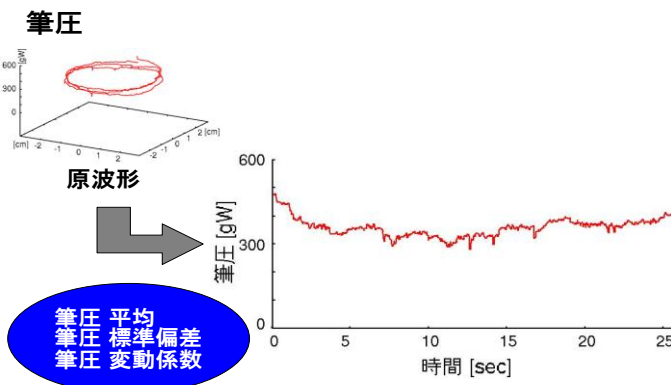
- (3) ターゲットからの遅れ：ターゲットに対する遅れを下図のように定義し、平均、標準偏差 (SD)、変動係数 (CV) を求める。



- (4) 震え：ターゲットの動作時における震え成分を抽出するために、加速度波形に注目しFFTによる周波数解析を行う。原波形を x 成分, y 成分, 筆圧成分に分解し、それらに2回微分を施し、加速度波形を求め、その加速度波形にフーリエ変換を施してそれぞれのパワースペクトルを求める。



- (5) 筆圧成分：各サンプリング時間毎の筆圧成分の変動量に着目し、各々の平均、標準偏差 (SD)、変動係数 (CV) を算出する。それらに加え、試行時間全体の変動量の和、平均、標準偏差 (SD)、変動係数 (CV) も算出し、筆圧成分のパラメータとする。



- c. 静止時パラメータ：ターゲットが移動を開始する前の10秒間の静止時における震えの成分を抽出する。動作時と同様に原波形を x 成分, y 成分, 筆圧成分に分解し、それぞれのパワースペクトルを求める。